

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【中央区】

★印：外観などが見学可能な文化財

◆印：見学時に事前連絡等が必要な文化財

※一覧表には、これまでに認定されたすべての地域遺産（認定文化財）を掲載しています。

個人所有物など公開されていないものがありますのでご注意ください。

また、私有地等への立入りはご遠慮ください。

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
池町	浜松風の型紙	有形民俗	大正4年～昭和6年の浜松風の絵柄の型紙	R03	456
	浜松風の風絵	有形民俗	戦後に実際に使用した千歳町の「天狗」風絵。	R03	457
植松町	蒲大神の碑★	歴史資料	東海道筋に建立、神明宮の前身を祀る。	R01	257
神立町	小山みい頒徳灯籠★	歴史資料	明治33年、遠州織物に功績あるみゑを記念。	R01	255
	蒲神明宮の大灯籠★	歴史資料	天保4年、当時の寄進した村々を記す。一対。	R01	254
	蒲神明宮の御田打ち	無形民俗	元日の朝、田打ちから田植えまでの所作をする。	R01	256
	蒲神明宮の庭上座礼	無形民俗	10月例大祭、玉石の上に筵を敷き神事を行う。	R01	258
	蒲神明宮の神楽	無形民俗	庭上座礼で16名の子女が櫛と扇子で踊る。10月例大祭。	R01	259
西塚町	尾竹竹坡「日の出の図」	絵画	旧東海道沿い、西区篠原町の旧家が所蔵していた。	R04	556
	間宮英宗(まみやえいじゅう)画賛鐘道図	絵画	臨濟宗奥山方広寺派管長(大正7～昭和2年)の画賛。	R04	558
	間宮英宗(まみやえいじゅう)墨跡	書跡	臨濟宗奥山方広寺派管長(大正7～昭和2年)の書。	R04	557
	足利紫山扁額「以德報徳」	書跡	方広寺派管長・足利紫山(安政6年生～昭和34年没)。	R04	559
	河野宗寛画賛梅花図	書跡	方広寺派管長、「暗香浮動月黄昏」。	R04	560
	西塚町の屋台	有形民俗	昭和23年製作。10月の祭礼では蒲神明宮に乗り入れる。	R05	660
	宇津木大明神(通称いぼ神様)	有形民俗	全国行脚していた六部の供養塔。長久寺境内に移転。	R05	661
	長久寺阿弥陀来迎図◆	絵画	先代住職〔S25年着任〕以前から開蓮忌法要で使用。	R04	551
	長久寺涅槃図◆	絵画	毎年涅槃会(2月15日)に法要する。大正期と推定。	R04	554
	長久寺十六善神図◆	絵画	江戸末～明治初頭か。修正会の正月3日間に法要。	R04	555
	長久寺釈迦如来坐像◆	彫刻	長久寺の創建、天正8年以來の本尊の可能性ある。	R04	553
	長久寺前卓◆	工芸品	寄進者「西塚村 鈴木清五郎」「文政十三年」と刻字。	R04	552
	長久寺出山佛の図◆	絵画	出山佛が描かれた掛軸。成道会の際に掲げられる。	R06	744
	長久寺十一面観音立像◆	工芸品	長久寺の本尊の脇仏として安置されている十一面観音立像。	R06	745
上西町	浜松風の型紙 附保管箱	有形民俗	昭和初期～20年頃までの風絵型紙、約100点。	R03	460
	浜松風の風絵	有形民俗	昭和10年代に使用した肴町の「鶴」風絵ほか。	R03	461
上新屋町	上新屋岩戸観音堂の諸仏	彫刻	旧岩戸観音堂の什器等を一括。	H29	103
	蒲二葉会日曜学校旗	歴史資料	大正3年(1914)に開校した児童座禅会の旗。	H29	110
	宝珠寺観音堂天井絵	絵画	観音堂兼位牌堂の格子天井に描かれる。	H29	98
	宝珠寺涅槃図	絵画	明和2年(1765)新添の裏書がある。	H29	104
	宝珠寺出山釈迦図	絵画	年代不詳、画賛は妙心寺寧山(～1838)と伝。	H29	105
	宝珠寺の頂相群	絵画	歴代住職の頂相。	H29	106
	宝珠寺達磨図	絵画	白隠禅師筆と伝。	H29	107
	宝珠寺十六善神図	絵画	不詳。大般若経転読や岩戸観音大祭に掛ける。	H29	109
	宝珠寺子安地藏菩薩像	彫刻	宝珠寺の本尊、厨子を含む。	H29	94
	宝珠寺延命地藏菩薩像	彫刻	無縁の霊を供養する像、厨子を含む。	H29	95
	宝珠寺聖徳太子孝養像	彫刻	袈裟姿に柄香炉を持つ立像、厨子を含む。	H29	96
	宝珠寺岩戸観世音菩薩像	彫刻	厄除け観音、厨子は明和6年(1769)京都製。	H29	97
	宝珠寺聖徳太子摂政像	彫刻	本堂須弥壇に置かれた摂政像。	H29	187

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【中央区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
上新屋町	宝珠寺達磨大師像	彫刻	椅子に掛けた達磨大師像。	H29	188
	宝珠寺通応和尚墨跡一円相	書跡	弘化2年(1845)、大通院に招かれた通応の書。	H29	115
	宝珠寺山岡鉄舟の書跡群	書跡	山岡鉄舟が滞在した時の書。	H29	189
	宝珠寺法華経	典籍	文化4年(1807)の記載がある奉納經典。	H29	102
	宝珠寺大般若経	典籍	貞享2年(1685)版。	H29	116
	宝珠寺六地藏と立念仏供養塔★	有形民俗	文化2年(1805)建立と推定。	H29	93
	宝珠寺観音札の版木	有形民俗	江戸時代から版木として使用。	H29	99
	宝珠寺のおみくじ箱	有形民俗	寛政5年(1793)と書かれた竹製みくじと箱。	H29	100
	宝珠寺の念仏数珠	有形民俗	毎月17日の縁日で信者が念仏を唱えた。	H29	101
	宝珠寺庚申図	有形民俗	庚申信仰の隆盛を示すもの。	H29	108
	宝珠寺日本左衛門供養塔★	有形民俗	歌舞伎のモデルとなった盗賊、処刑後に建立。	H29	111
	宝珠寺半僧坊大権現の碑★	有形民俗	奥山半僧坊の分身として信仰された。	H29	112
	宝珠寺秋葉山常夜灯★	有形民俗	明和7年(1770)建立。	H29	113
	宝珠寺手水桶★	有形民俗	明和6年(1769)の刻字がある。	H29	114
	宝珠寺半僧坊大権現像	彫刻	半僧坊の信仰を集めた宝珠寺の木造立像。	R01	251
大蒲町	大蒲町のまつり道	伝承地	蒲静並の邸宅跡から神明宮までの道と伝える。	R01	260
薬師町	金原明善翁顕彰碑★	歴史資料	大正7年(1918)建立、金原明善の業績を示す。	H30	203
	北嶋八幡宮文書	古文書	慶長6年、伊奈備前守忠次他連署の安堵状。	R01	252
	薬師町八柱神社鳥居壱門棟札	古文書	1901年に神仏分離令による改修した記録。	R01	253
	薬師町八柱神社神社社額★	書跡	有栖川燦仁親王、山岡鉄舟の揮毫各1面。	R02	323
薬新町	浜松領東境領境石★	歴史資料	東海道安間橋の南北から、現在地に移転。	H28	23
安間町	安間町会所の幕	歴史資料	弘化5年(1848)製、八柱神社の会所で使用。	H29	92
	安間町秋祭り(八柱神社)屋台◆	有形民俗文化財	昭和天皇の即位を祝い製作された掛塚式屋台。	R06	746
白鳥町	白鳥の富士石★	有形民俗	行者の石が次第に大きくなったという伝承。	H28	8
	白鳥町子安神社境内★	史跡	出産にあたり鎌と柄杓を奉納する習俗。	H28	7
松小池町	松之浦神社の注連縄★	無形民俗	10月例祭前、鳥居の注連縄を俵形とし、亀甲状に結ぶ。	H28	10
中野町	村越家石蔵	建造物	明治10年(1877)建造、伊豆石の蔵。	H28	12
	高橋本家石蔵・土蔵	建造物	伊豆石の蔵と土蔵は、明治27年(1894)。	H28	13
	大塚家石蔵	建造物	明治7年(1874)建造、伊豆石の蔵。	H28	14
	井熊家石蔵	建造物	明治後期建造、伊豆石の和洋折衷の蔵。	H28	15
	高橋家石蔵	建造物	明治37年(1904)建造、伊豆石の蔵。	H28	16
	和田家石蔵	建造物	明治後期建造の伊豆石の蔵。	H28	17
	舟橋紀功碑★	歴史資料	架橋に功績があった浅野茂平の記念碑。	H28	19
	中野町の煙火	無形民俗	毎年8月14日開催。元は六所神社に奉納。	H28	22
	中ノ町村道路元標★	史跡	大正9年(1920)、旧中ノ町村の道路元標。	H28	18
	大隄(おおみか)神社境内★	史跡	旧松尾大明神、松尾大社領池田荘の中核。	H28	21
	中野町の町並み★	伝統的建造物群	天竜川西岸、旧東海道沿いの町屋景観。	H28	11
青屋町	御嶽大神碑	歴史資料	明治期～大正期の御嶽信仰の石碑が残る。	R02	330
	水晶六所神社境内★	史跡	坂上田村麻呂伝承がある神社、水晶松があった。	R02	331
大塚町	福長浅雄建立謝恩の碑	歴史資料	飛行機製造の協力者に福長が感謝した記念碑。	R01	268
	大塚稲荷明神の手水鉢★	歴史資料	享保4年(1719)の年号がある。石製。	R01	269
頭陀寺町	頭陀寺弘法大師像	彫刻	家康寄進と伝わる木造坐像。	H28	34

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【中央区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
頭陀寺町	頭陀寺地藏菩薩像	彫刻	明治前期鑄造の立像、水掛地藏。	H28	35
	頭陀寺半鐘	工芸品	天保14年(1844)鑄造。戦時供出から寺に戻った。	H28	39
	頭陀寺薬師道の道標★	歴史資料	正徳元年(1711)造立の2点を境内に移築。	H28	36
	頭陀寺役行者像	有形民俗	延享3年(1746)造立の石造。	H28	37
	鎌砥池(かまとぎいけ)★	伝承地	松下家に奉公した豊臣秀吉の伝説がある池跡。	H28	38
金折町	金折津島神社祇園祭(ヨイトー)	無形民俗	8月4日の夜、大松明を運ぶ虫送りと天王祭。	H29	125
古川町	旧石川鉄工場の鞆(ふいご)	歴史資料	ソミック石川創業者が師匠から引き継いだ工具。	R03	469
江之島町	新羅神社境内★	史跡	小笠原源太夫が享保8年に勧請した。	R01	270
上石田町	上石田高橋家の石蔵	建造物	昭和2年、伊豆石の蔵。敷地は広場として開放。	R01	247
天王町	天王町東秋葉山常夜燈鞘堂★	有形民俗	嘉永7年(1856)建立、昭和47年移転。	H28	4
	天王町東引舞台家形	有形民俗	天王町東の屋台、明治15年(1882)製作。	H28	5
	手押し消防ポンプ車及び刺し子	歴史資料	大正13年製。「下堀」という旧地名を記す。	R01	249
	天王町中の屋台	有形民俗	明治19年製。天王新田の大工が製造した。	R01	250
笠井町	金田家住宅	建造物	昭和6(1931)年改築、同棟札が現存。	H28	6
	笠井町春日神社の神輿	有形民俗	渡御のご神体を載せる、明治15年(1882)建造。	H30	205
	笠井町春日神社の神輿渡御	無形民俗	神社からお仮屋(天満宮)まで神輿が往復する。8月14,16日。	H30	204
豊町、浜北区含	袖ヶ浦三十三観音霊場の観音像 ※★	有形民俗	豊町蔵泉寺ほか22体の観音像が現存する。	R01	279
佐藤	深奥山扁額	書跡	方広寺大火後の復旧のため山岡鉄舟が書いた。	R01	245
松城町	曠原三方(こうげんみかた)	歴史資料	三方原の歴史を著した図書、中央図書館所蔵。	R03	458
	日本博覧図録岡県初篇	歴史資料	百里園製茶場など市内の風景を描いた銅版画集。	R04	546
	旧浜松市歌森鷗外原歌詞書簡	歴史資料	旧浜松市歌(森鷗外作詞)の歌詞を示した書簡。	R04	547
	衛生のうた(ちらし)	歴史資料	福島豊策作詞、鞍智逸平印刷、山葉寅楠発行。	R04	548
高町	曳馬坂拡張記念碑★	歴史資料	昭和6年道路拡張工事記念。若槻礼次郎揮毫。	R01	243
三組町	浜松秋葉神社の管粥祭	無形民俗	毎年1月28日に、五穀の豊作を占う。	H29	139
	浜松秋葉神社境内★	史跡	奥平信昌屋敷跡、信玄衆誓詞奉納などの場所。	H29	140
	浜松秋葉神社のオガタモノキ★	天然記念物	戦災を免れた巨木。樹齢不詳。	H29	141
鴨江町	旧浜松市鴨江別館★	建造物	昭和3年(1928)、浜松警察署として竣工。	H29	160
富塚町	館山寺街道の道標★	歴史資料	明治37年(1904)設置、高さ1.38m。	H30	193
	宇布見街道の道標★	歴史資料	上記14と同様、明治37年(1904)設置か。	H30	194
	狐塚古墳	史跡	直径20mほどの円墳。現地立入は不可。	H30	195
西山町	水神宮境内★	史跡	東神田川水源地。賀久留神社の奥の院とも言われる。	R04	562
神久呂地区	神久呂の民話	記憶遺産	「六平狐」など、13の民話が伝えられている。	R04	564
神ヶ谷町	賀久留神社の神幸祭	無形民俗	毎年10月に開催する田楽と神輿渡御。	H28	24
	賀久留神社御旅所★	史跡	神幸祭(H28年認定)で拝王子が注連縄を切る。	R04	563
	賀久留神社境内の石造物群★	歴史資料	江戸時代から昭和期まで寄進された石造物を一括。	R05	664
	洞雲寺境内★	史跡	応永11年(1404)開創。境内の景観を残す。	H28	28
	西ノ谷の役行者像	有形民俗	安行平(あげひら)にあった行者宮を明治12年に移設。	R04	565
	御料地境界杭	歴史資料	三方原台地が明治期に御料地となったことを示す境界石杭。	R05	665
	神ヶ谷町西組の引き舞台 附古文書21点	有形民俗	賀久留神社例祭の行列に連なる引き舞台の一つ。宮大工の鈴木儀三郎が製作。	R07	760
大久保町	大久保陣屋跡★	史跡	寛永19年に服部中家三代保俊の代に設置された。	R04	566
	大窪神社の祇園祭り	無形民俗	進雄神社で行われてきた「祇園祭」を継承している。	R05	662
	大窪神社境内の石造物群★	有形民俗	昭和26年(1951年)大久保村内の4神社を合併して設置された石造物25点。	R07	759

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【中央区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
神原町	一等三角点(三方原基線南端)★	建造物	明治16年に全国14の基線の一つとして設置。	R04	567
	神原町神明神社境内★	史跡	昭和34年(1959)、新設した町のよりどころとして建設。	R05	666
入野町	入野の織布工場建物	建造物	昭和30年以前には創業したのこぎり屋根の工場。	R03	463
	入野の織物工場建物	建造物	昭和11年に創業したのこぎり屋根の織物工場。	R03	464
	瀧本家土蔵	建造物	昭和9年に建設された米などを保管する蔵。	R03	465
西鴨江町	西見寺の初午	無形民俗	旧花学院の初午が、西見寺に引き継がれる。3月初午の日。	R04	568
志都呂町	旧志都呂陣屋関係資料	歴史資料	五井松平家のキリシタン禁制と飾り格子を一括。	R04	569
	志都呂の獅子舞神楽	無形民俗	元禄11年、五井松平氏のころ開始。八幡宮ほかを回る。	R05	667
	志都呂町一門の氏神社 棟札18点◆	歴史資料	志都呂八幡宮に納められた神社の氏神等を記した木札。	R07	761
佐浜町	内山又十及び竹蔵頌徳碑★	歴史資料	内山又十と竹蔵の佐浜地区の埋立・農地整備を記念。	R04	561
大人見町	腰掛け岩★	伝承地	八幡宮境内。ヤマトタケル東征のおり、腰かけたと伝わる。	R05	663
古人見町	宮井戸★	有形民俗	若御子神社の鳥居脇にある舟の形をした井戸。	R06	742
大山町	西大山の初午祭	無形民俗	旧大山寺境内で継承されている3月初午の日の馬回し。	R03	462
館山寺町	茂山塚(もさんづか)★	史跡	姉川の戦いで討死した中安兵部の宝篋印塔。	R01	265
	桜塚★	史跡	大永2年、佐田城落城の際の女性の墓と伝う。	R01	266
	館山寺町愛宕神社社殿★	建造物	元禄16年に再建、7月に手筒花火を奉納。	R02	324
	館山寺聖観音像★	彫刻	昭和12年鑄造、高さ約16mで当時は最大級。	R02	325
	弘法穴古墳	史跡	横穴式石室。空海の修行伝承がある「穴大師」。	R02	326
村櫛町	随縁寺涅槃図	絵画	浜松・寺島にあった随縁寺が旧蔵。	H28	30
	随縁寺十六善神図	絵画	寛文12年(1672)、兆典司の筆。	H28	31
	随縁寺大日如来像	彫刻	志津城主藤原氏の発願、村櫛荘大日堂旧蔵。	H28	32
	随縁寺大日堂扁額	工芸品	堀江藩・大澤基恒揮毫、同寺は大日堂の後身。	H28	29
蛸塚四丁目	浦川学校扁額(榎本武揚筆)	書跡	明治年間に、金原明善の仲介で榎本が揮毫。R07.4~博物館所蔵。	R02	453
葵西六丁目	旧萩の原開拓村の区画★	文化的景観	昭和22年、三方原開拓入植当時の区画を残す。	R02	309
肴町	不二丘料理店主屋	建造物	昭和30年に開業した割烹料理店の宴会場。	R02	311
	間淵商店主屋	建造物	昭和2年に建造した建物が戦災を逃れて残る。	R02	312
	三米商店主屋	建造物	昭和31年建造の鉄筋コンクリート3階建てビル。	R02	313
	林麴製造所土蔵	建造物	明治期に建造した蔵が戦災を逃れて現存する。	R02	317
	大安寺阿弥陀如来像	彫刻	昭和25年に法雲寺から移転した西の市を継続。11月西の日。	R02	318
	不二丘料理店関係資料	歴史資料	料理店の宴会で使用していた三味線。	R02	310
	天ぷらの枋形関係資料	歴史資料	戦前に江間殿小路で使用していた半纏と井。	R02	314
	松作商店関係資料	歴史資料	明治26年の荷受状、戦前の金庫などを保存。	R02	315
	林糴製造所関係資料	歴史資料	大正以前、糴の小売り行商に使用していた木桶。	R02	316
	伊東商店関係資料	歴史資料	戦後に導入した鳥羽式鯉節削り機が稼働する。	R02	321
	弁いち関係資料	歴史資料	得意先からの書画、昭和26年の婚礼献立など。	R02	322
	大安寺の西の市	無形民俗	昭和25年に法雲寺から移転した西の市を継続。	R02	319
	山口屋寿司店のかまど炊き	伝統的生活文化	現在でも薪によるかまど炊きの炊飯を継続。	R02	320
紺屋町	蓮華寺松尾芭蕉句碑★	有形民俗	松尾芭蕉が吟行した縁から天明8年頃建立。	H29	128
	心造寺賀茂真淵句碑	有形民俗	浜松出身の国学者、見学は寺の許可が必要。	H29	129
	小沢仁庵の墓	史跡	浜松城主の御典医、見学は寺の許可が必要。	H29	130
利町	誠忠碑★	建造物	大正8年(1919)建設の戦勝碑。現在地に移設。	H29	147
	五社・諏訪神社の手水鉢★	歴史資料	寛永15年(1638)年、浜松城主高力忠房寄進。	H30	197

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【中央区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
利町	五社神社の光海霊神碑★	歴史資料	賀茂真淵が師・森暉昌を記念して撰文した碑。	H30	198
	五社神社・諏訪神社の石垣★	史跡	徳川家光の時代に建設された切石の石垣。	H30	196
鍛冶町	黒田稻荷境内★	史跡	享保年間の浄鏡院の尼僧が勧請したと伝わる。	H30	199
栄町	金山神社境内★	史跡	浜松城下の鍛冶職が勧請、元和年間に現位置。	H30	200
新橋町	大通院山門★	建造物	宝暦4年(1754)建立、昭和27年移築。	H29	117
	大通院釈迦如来像	彫刻	天明5年(1785)造立と伝わる。	H29	119
	大通院舍利容器	工芸品	宝暦14年(1764)に大通院に拝請された。	H29	120
	大通院禁筆酒標石★	有形民俗	文化12年(1815)、馬繫ぎ石を兼ねる。	H29	118
	大通院舍利塔	工芸品	大正15年に仏舎利を格納するために製作した。	R01	267
堤町	堤町馬頭観音像★	有形民俗	明応年間(1492～1500)勧請と伝えられる。	H29	121
	堤町馬頭観音堂の手水鉢	歴史資料	宝暦7年(1757)、西国同行二十三人とある。	H30	210
	堤村地券下図	歴史資料	寺院襖下張りから発見、地祖公課の基図か。	R02	332
	田地売渡証文	歴史資料	明治8年の証文、寺院の襖下張りから発見。	R03	468
	龍吐水(りゅうどすい)	歴史資料	「江戸浅草花川戸 龍吐水師 岡野庄三郎」。	R04	576
	十牛図写	歴史資料	好徳寺本堂の襖の下張りに利用されていた。現在は軸装。	R05	668
倉松町	倉松町のいぼ地藏信仰資料	有形民俗	村の火葬場に通じる野辺の入口に置かれていた。	H29	122
馬郡町	馬郡観音堂旧蔵大般若経	典籍	文化3年(1806)に当地出身者らが寄進。	H28	25
元城町	引間城跡★	史跡	家康旧跡のうち、東照宮境内を認定。	H29	159
	旧元城尋常小学校校長像台座	歴史資料	戦時中の金属供出により台座だけが残る。	H30	202
中沢町	賀茂真淵夫妻の墓	史跡	教興寺にあった墓が移転。真淵は明和6年没。	H30	201
助信町	御朱印状保管箱及び御朱印写	歴史資料	助信村に浜松藩から発給された文書の保管箱。	R01	246
早出町	早出薬師講信仰資料	有形民俗	明治初期造立の西国三十三観音像ほか。	H29	126
有玉南町	有玉神社の流鏑馬神事	無形民俗	旧八幡神社に三自治会の代表が奉納する。10月10日。	H28	9
半田町	舟岡山のトーチカ★	史跡	第二次世界大戦末期、コンクリート製。	H28	2
初生町	旧陸軍第七航空教育隊正門門柱	建造物	昭和15年に新設された第七教育隊の石製門柱。	R03	473
	三方原の半僧坊里程石★	有形民俗	「奥山半僧坊大権現まで三里廿九丁」明治27年。	R03	471
	長池排水壕★	史跡	昭和15年、陸軍兵舎の排水用に掘られた溝。	R03	472
	信玄街道★	伝承地	三方ヶ原の戦いで信玄が台地上に進軍した経路と伝う。	R04	577
	三方ヶ原沽券地改正絵図	歴史資料	明治7年ころ、三方原の耕地ほかを表した絵図。	R05	671
初生町～三方原町	三方原の中道★	近代化遺産	明治2年、気賀林が三方原開拓のために建設。	R03	488
三方原町	気賀林顕彰碑(三富翁之碑)★	歴史資料	三富(長寿・子宝・財産)、日下部鳴鶴の書。	R03	474
	三方原開拓之碑(萬世不朽)★	歴史資料	村の危機を救った7人の功績を顕彰する石碑。	R03	475
	四勇士之碑★	歴史資料	飛行第七連隊の墜落機乗員の行為を顕彰する。	R03	477
	三方原の道標群★	歴史資料	追分の道標ほか4件を一括して認定。	R03	478
	三方原大正開墾記念碑★	歴史資料	大正年間の26軒による御料林開墾を記念する。	R03	481
	横田保顕彰碑★	歴史資料	気賀林没後の百里園園長を顕彰する石碑。	R03	482
	渡辺素夫顕彰碑★	歴史資料	三方原の窮乏を救った村長を顕彰する石碑。	R03	483
	三方原神社の忠魂碑★	有形民俗	日露戦争以降の三方原村の戦死者を祀る。	R03	476
	精塚塚(しょうちんづか)★	有形民俗	三方原の戦いで徳川軍戦死者を祀ると伝う。	R03	480
	三方原の馬頭観音像★	有形民俗	文政8年、志都呂陣屋の馬の道中死を供養する。	R03	484
	三方原土族屋敷跡	史跡	明治2年からの土族による三方原開墾の屋敷跡。	R03	479
東三方町	東三方の道標★	有形民俗	西国三十三観音参詣の十人組が建立した。	R03	485

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【中央区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号	
豊岡町	満州道路★	近代化遺産	戦後、三方原台地開墾の入植時の直線道路。	H28	62	
	旧陸軍三方原爆撃演習場掩体壕	建造物	昭和19年、陸軍省航空部が対爆撃用に建設。	R03	487	
	旧陸軍三方原爆撃演習場視察築山	史跡	爆撃演習を将校が監督した人工の「お立ち台」。	R03	486	
三幸町	三方原開拓の区画(三幸町)★	文化的景観	瑞穂・平手塚・千代田は防風林で囲まれた区画。	R04	578	
住吉	住吉の親子地蔵像	有形民俗	大正12年建立、武士の親子を祀るという。	R01	244	
住吉二丁目	元亀霊神社境内★	史跡	住吉町開発に際し、三方原合戦の将兵を祀る。	H29	143	
高林四丁目	鞍智逸平夫妻の肖像写真	歴史資料	開明堂の創業者・鞍智逸平が妻と撮影した選暦記念。	R04	549	
	渡辺素夫の肖像写真	歴史資料	第4代浜松市長、退任後に三方原村村長も歴任。	R04	550	
曳馬四丁目	三浦神社拝殿★	建造物	大正13年(1924)年建立。	H29	131	
舞阪町	舞阪の大太鼓祭り	無形民俗	旧暦9月14、15日、岐佐神社に奉納する。	H28	27	
	旧舞坂本陣扁額(阿部正弘筆)	書跡	「横琴對奇石」、舞坂宿で老中・阿部正弘が揮毫した。	R03	574	
	旧舞坂本陣扁額(井上馨筆)	書跡	「霞其實不居葦」、舞坂宿本陣で井上馨が揮毫。	R04	575	
舞阪町他、旧南区含む	浜松海岸の浜おり	無形民俗	元旦、海岸の砂で自宅周辺を清める行事。祭り当日も実施。	R03	466	
舞阪町舞阪	岐佐神社の赤猪石★	有形民俗	古事記の大国主命の火傷治癒に関わる伝承。	R02	328	
舞阪町舞阪	宝珠院の海苔供養祭	無形民俗	森田屋彦之丞と大森三次郎の墓前で供養祭。	R02	329	
舞阪町弁天島	いかり瀬の海浜植物群	天然記念物	浜名湖の干潟が陸化し、ハマゴウなどが群生。	R03	467	
雄踏町	賀茂靱音墓碑★	歴史資料	明治21年に建碑、鑄鉄製。賀茂水穂が建てた。	R02	327	
	妙楽寺聖観音菩薩坐像	有形民俗	元禄4年(1691)創建の黄檗宗観音寺の本尊と伝わる。	R04	570	
	妙楽寺三十三観音像	有形民俗	木造三十三観音像、全長は24～34cm。	R04	571	
	西光寺三十三観音像	有形民俗	木造、高台に西国三十三札所の番号を朱書。	R04	573	
	西光寺聖観音菩薩立像	有形民俗	秘仏で普段は前立観音を拝する。明暦元年に寄進。	R04	572	
	息神社の田遊祭	無形民俗	3月、宮座の人びとが稲の栽培を祈念する。	H28	26	
	雄踏歌舞伎万人講	無形民俗	昭和27年中断、平成元年から保存会が復活。1月開催。	H28	33	
	雄踏町西ヶ崎自治会文書	古文書	天保3年「若者掟」、慶応3年「御蔭寄付」。	H29	123	
	雄踏町領家の金館車	有形民俗	息神社祭典で領家地区が使用する山車。	H29	136	
	雄踏町山崎の百万遍念仏	無形民俗	毎年8月1日、川施餓鬼とともに開催される。	H29	124	
	息神社の金的中額	有形民俗	弓術で奉納、最古のものは寛延元年(1748)。	H30	206	
	雄踏町西ヶ崎の館車	有形民俗	明治25年(1892)建造、知多の大工が製作。	H30	207	
	雄踏町田端の館車	有形民俗	昭和11年(1936)建造、知多の大工が製作。	H30	208	
	山崎の秋葉山常夜灯鞘堂★	有形民俗	明和5年(1768)建造、中に常夜灯を納める。	H30	209	
	雄踏町ゆかりの書画	絵画／書跡	旧雄踏町教委が郷土に関係する書画を集めた。	R01	261	
	雄踏町浅羽の館車	有形民俗	明治36年東京で製造、静岡七間町から購入。	R01	262	
	雄踏町小山の館車	有形民俗	明治22年天王新田の大工が製造した。	R01	263	
	雄踏町中村の館車	有形民俗	江戸時代、掛塚で使用。明治22年に購入。	R01	264	
	(個人蔵)	賀茂真淵筆懐紙	書跡	真淵が宝暦4年(1754)年に詠んだ和歌。	H28	1
	(個人蔵)	天竜川実測図	歴史資料	金原明善の天竜川測量図のうち一部。	H28	20
(個人蔵)	兵藤家文書	古文書	旧引佐郡神宮寺村兵藤家に伝来した文書。	R02	336	
(個人蔵)	近世近代浜松関係資料	歴史資料	個人蔵、計101件。浜松に関わるものを認定。	R01	248	
(個人蔵)	徳川十六将図	絵画	江戸時代末ころの浮世絵版画(3枚組)を軸装。	R05	670	
(個人蔵)	紙本墨書「浜松茶所」	書跡	「茶 遠州濱松 良ひ茶の出処 娘やり多や 茶を摘に」。	R05	669	
—	浜松の大菊栽培技術	無形文化財	浜松菊花会会員が継承する大輪の菊栽培技術。	R03	459	

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
都田町	都田の連理木のエノキ★	天然記念物	戦後の三方原開拓地(もとは演習場)に生えていた連理木。	R05	693
	白昭(はくしょう)開拓村の区画★	文化的景観	昭和22年に入植した集落の区画と道路が残る。	R02	333
都田町、三ヶ日町	河西訓導殉職関係資料	歴史資料	昭和2年の都田川洪水の記録と殉職者墓地。	R03	470
滝沢町	滝沢の石垣集落景観★	文化的景観	戦国末期に山の南斜面を開発した集落。	R01	278
滝沢町～引佐町	旧井伊郷の地の神祭祀	無形民俗	一門・同族による地の神祭祀、5か所を認定。	R03	490
北浜地区	北浜の道標群★	歴史資料	北浜地区に残る道標を一括して認定。	R02	370
	北浜の秋葉山常夜灯群★	有形民俗	北浜地区に残る秋葉山常夜燈を一括して認定。	R02	367
	北浜の馬頭観音像群★	有形民俗	北浜地区に残る馬頭観音像を一括して認定。	R02	368
四塔	四塔の観音堂及び道標★	有形民俗	大正4年道標ほか、観音堂は北側からの移転。	R02	378
赤佐地区	赤佐の秋葉山常夜灯群★	有形民俗	赤佐地区に残る秋葉山常夜燈を一括して認定。	R02	386
寺島	西隠寺椿薬師像	彫刻	椿の傍らの堂に2体がある。拝観は要連絡。	H30	217
	寺島の道祖神	有形民俗	道標を兼ねて置かれた舟形の道祖神。	H30	215
	寺島山王の秋葉山常夜灯★	有形民俗	明和5年(1768)建設、龍燈が鞘堂となっている。	H30	216
	大伝寺の弘法大師像	有形民俗	文化13年、新四国八十八か所の結願寺。	R02	366
	中安家土蔵	建造物	織布業を営んだ中安家の大型2階建ての土蔵。	R03	493
	寺島の半僧坊里程石群★	有形民俗	笠井から半僧坊への参詣路沿い、4件を認定。	R03	494
中条	中条の山の神像	有形民俗	森林に覆われていたところに勧請、時代不詳。	R02	369
横須賀	横須賀諏訪神境内★	史跡	文明元年再建の記録がある。創立年は不詳。	R03	501
	玉脇稲荷神社境内	史跡	伏見稲荷から玉脇神社という名と札をいただいて勧請。	R04	643
	横須賀若宮神社境内★	史跡	延宝6年(1678)の青山領分絵図には若宮神社と記載。	R04	644
高畑	八雲神社境内★	史跡	天正19年再建の記録がある。創立年は不詳。	R03	502
西美園	金子家石蔵	歴史資料	木造2階建て、伊豆石張り、修復時は大谷石。	R02	418
	西美園の延命地蔵像★	有形民俗	享保元年(1716)、子育ての信仰がある。	R02	419
	西美園の常盤稲荷堂★	有形民俗	100年近く前に地区で建立、昭和30年代建替え。	R02	420
	西美園諏訪神社境内★	史跡	伊勢神宮に生姜を献上する。十二灯明を行う。	R03	503
	素戔之男吾妻神社境内★	史跡	吾妻神社境内に素戔之男神社を合祀と推定。	R03	504
	多宝院境内★	史跡	天文元年ころ開創。曹洞宗学園寺の末。	R03	505
東美園	東美園の道標★	歴史資料	観音像とともに、秋葉・宮口方面を示す。	R02	421
	東美園の不動堂★	有形民俗	平口不動寺から分霊を祀ったという。	R02	422
	東美園八幡宮境内★	史跡	天正12年に八幡宮として再建。平成14年改築。	R03	506
	一林寺境内★	史跡	承応元年開創、享保年間に学園寺末となる。	R03	507
油一色	油一色八幡宮境内★	史跡	伝慶長8年勧請。元禄11年再建の棟札が残る。	R03	508
	常光院境内★	史跡	慶長8年、大宝寺の常光和尚が堂宇を建立。	R03	509
本沢合	本沢合水神社境内★	史跡	伝正保2年創建。延宝3年再建の棟札が残る。	R03	510
	龍現寺境内★	史跡	寛永年間、大宝寺の本峰和尚が開創したと伝。	R03	511
道本(どうほん)	道本中村家の石蔵	建造物	昭和12年(1937)建築。伊豆石の蔵。	H29	190
	道本の子安堂★	有形民俗	文化12年に美園村の大工が再建。創立年不詳。	R03	512
	道本於呂神社境内★	史跡	明暦元年再建の棟札がある。四社を合祀する。	R03	513
沼	沼の地蔵菩薩像★	有形民俗	昭和12年、無縁仏の堂に金谷の地蔵尊を分霊。	R03	514
	沼八幡宮境内★	史跡	天正14年、太田沼之助が勧請、真竹を奉納。	R03	515
貴布祢	貴布祢薬師堂★	建造物	寛文13年、疫病退散を祈願して井川村から勧請。	R03	517
	長泉寺山門★	建造物	浜松井上藩下屋敷の門を平野又十郎が寄進。	R03	520

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号	
貴布祢	長泉寺境内★	史跡	応永8年開創、天正2年に臨済宗に改宗。	R03	519	
	全心坊の地藏菩薩像★	有形民俗	度の僧が即身仏となった場所に地藏尊を祀る。	R03	518	
	須佐之男神社境内★	史跡	大正7年、小祠があった天王山に社を建設した。	R03	516	
小林	下小林八幡宮境内★	史跡	天正20年の棟札がある。創立年は不詳。	R03	521	
	上小林稲荷神社境内★	史跡	明德年間に修造との記録がある。創立年は不詳。	R03	522	
	自徳院の多層塔★	有形民俗	14世紀後半、塔身と2層分の屋根を残す。	R03	524	
	自徳院境内★	史跡	応永5年開創、慶安2年の家光御朱印を保管。	R03	523	
	心宝寺山門★	建造物	寛永9年(1632)、青山忠俊が寄進したと伝う。	H29	191	
	心宝寺境内★	史跡	大永5年開創、臨済宗方広寺派。	R03	525	
	目星大神★	有形民俗	馬込川の目星橋付近で眼病などに効力があると伝わる。	R05	697	
高菌	學園寺境内★	史跡	今川義元と二俣城主・二俣昌長夫妻を中興開基とす。	R04	645	
	高菌八幡神社境内★	史跡	天承年間創建と伝える。万治元年に再建。	R04	646	
竜南	竜南の地藏菩薩像★	有形民俗	明治期に立身出世したとの願掛け伝承がある。	R02	423	
八幡	八幡庚申堂の石仏★	有形民俗	堂内に庚申様と如意輪観音の石像がある。	R02	424	
上善地	上善地の青面金剛童子像★	有形民俗	元禄16年。願掛けの時に縄でしばるといふ。	R02	425	
	龍守院境内★	史跡	本尊、地藏菩薩・千手観音・庚申尊天などがある。	R04	647	
内野	真光寺の烏樞沙摩明王像	有形民俗	製作年不詳、別名不浄金剛。現在も信仰の対象。	R02	341	
	真光寺の地藏菩薩像	有形民俗	宝永年間の建立、眼病治癒の信仰がある。	R02	342	
	内野小島の如意輪観音像	有形民俗	旧尼寺から移転。毎月10日に数珠送りがある。	R02	343	
	内野小島の三十三観音像	有形民俗	来歴不詳。西国三十三観音を模している。	R02	345	
	内野小島の阿弥陀如来像	有形民俗	福応寺観音堂と対の阿弥陀堂があったという。	R02	346	
	福応寺の北向観音堂★	有形民俗	享保12年、黄檗宗の法源禅師により建立された。	R02	344	
内野台一丁目	正壽院絵図	絵画	寛政3年、十世・瀧峰和尚のころの境内を描く。	R02	347	
	八王子千人隊の墓碑★	歴史資料	明治初期、千人隊の一部が開墾した供養碑。	R02	348	
	徳川將軍家朱印状写	古文書	徳川幕府から正壽院への寺領安堵状の写し。	R02	349	
	正壽院の一字一石塔★	有形民俗	安永8年、経典を書いた石を埋納した場所。	R02	350	
平口	姥ヶ谷の半僧坊里程石	歴史資料	明治10年建立「四里」、旧道から現在地に移動。	R02	351	
	姥ヶ谷の道標	歴史資料	観音像と、「かさいみち」、「あきはみち」と刻む。	R02	352	
	姥ヶ谷植林記念碑	歴史資料	明治9年の山火事で焼けた痕に植林した記念。	R02	353	
	平口不動寺境内★	史跡	延宝16年、黄檗宗の寺院として開創。	R02	354	
	平口八幡神社境内★	史跡	現在の社殿は明治26年に再建。	R02	355	
	平口足立家石蔵	建造物	大正末期建設。伊豆石を使用、高床式2階建て。	R02	356	
	平口新田の地藏菩薩像★	有形民俗	墓地跡に建てられている。時代不詳。	R02	357	
	徳生寺の地藏菩薩像★	有形民俗	いたずら地藏。夜な夜な剃髪を求めたという。	R02	358	
	西福寺の弁財天像	有形民俗	江ノ島で弘法大師が製作した3体のうちという。	R02	359	
	不動寺の松尾芭蕉句碑★	有形民俗	弘化2年、芭蕉150年忌に地域の句会が建立。	R02	360	
	平口の道標群★	歴史資料	法師軒の道標「御大典記念」ほかを一括。	R02	361	
	平口新田の観音堂及び六地藏堂	有形民俗	享保6年、大念仏の流行とともに48村で建立。	R02	362	
	平口の馬頭観音像	有形民俗	大正7年、運送業を営んでいた先代が建立。	R02	363	
	不動寺今光明経塔★	彫刻	金指近藤家が出世稲荷とともに寄進したもの。	R02	364	
	平口新田の秋葉山常夜灯★	有形民俗	天明5年製、石製、高さ165cm。	R02	365	
	上島	上島の秋葉山常夜灯★	有形民俗	昭和5年製、石製。	R02	371

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
上島	中瀬津島神社境内★	史跡	享保年間の創建と伝う。境内に蚕影神社がある。	R05	698
	上島諏訪神社境内★	史跡	昭和6年(1931)に天竜川改修工事で現在地へ移転した。	R05	699
中瀬	長久院文書	古文書	廃寺となった長久院の安政期文書を保管。	H28	66
	長久院涅槃図	絵画	廃寺となった寺院の絵図を保管、安政4年制作。	R01	283
	中瀬村大橋家関係資料	歴史資料	旧中瀬村の歴史をまとめた資料。	H28	67
	中瀬の霞堤★	史跡	天竜川の洪水を減災するための堤防が現存。	R01	282
	中瀬畜産祭り関係資料	歴史資料	昭和29年、「中瀬畜産まつり」を記録した動画。	R02	372
	第1回全日本豚共進会記念碑★	歴史資料	養豚の村だった中瀬が一等賞を受賞した記念碑。	R02	373
	中瀬の秋葉山常夜灯群	有形民俗	中瀬地区に残る秋葉山常夜燈を一括して認定。	R02	374
	中瀬の石仏★	有形民俗	大野地蔵堂にある、江戸時代か。	R02	375
	中瀬の弘法大師像★	有形民俗	明治期に建立、新東名建設で現在地に移設。	R02	376
	中瀬大平の道標★	歴史資料	大正8年設置、二俣・上島方面を示す。	R02	377
	中瀬の馬頭観音像★	有形民俗	約150年前、献上した愛馬の無事を祈って建立。	R02	379
	中瀬の延命地蔵像★	有形民俗	木下久左衛門邸跡地、一門の講で維持している。	R02	380
	中瀬の観音菩薩像★	有形民俗	江戸時代末、伊勢参りの記念に建立したという。	R02	382
	中瀬の地蔵菩薩像★	有形民俗	「西国三十三観音」ほか3体、享保・宝暦の年号。	R02	383
	中瀬ドンボ跡	史跡	遊水地を「ドンボ」という。かつては水車があった。	R02	381
	貞明皇后中瀬行啓関係資料	歴史資料	昭和23年、県蚕糸工場を行啓された記録映像。	R03	496
	江間猪佐美歌碑★	有形民俗	昭和4年、中瀬出身で養蚕家の江間氏が寄進。	R03	498
	八方地蔵尊境内★	史跡	延宝8年に畑から発見された地蔵を祀る。	R03	495
	中瀬天神社境内★	史跡	普賢院の鎮守として菅原道真を祀る。	R03	499
	並松稻荷神社境内★	史跡	明治33年再建の棟札がある。一門の氏神。	R03	500
中瀬の干し芋	伝統的生活文化	明治後期、干し芋の製法が導入され、継続する。	R03	497	
中瀬招魂社	史跡	昭和19年戦没者遺族が原野を開拓、後に社を建立。	R04	602	
若宮八幡宮境内★	史跡	延宝7年(1679)再建、現在の社殿は平成6年に再建。	R05	696	
中瀬ほか	袖ヶ浦三十三観音霊場の観音像 ※★	有形民俗	小島観音堂ほかに22体の観音像が現存。	R01	279
豊保	中瀬四塔の秋葉山常夜灯鞘堂の欄間	有形民俗	令和元年に取り壊された鞘堂の欄間のみを保存。	R01	281
於呂	於呂のごうりん様★	有形民俗	掘り出された五輪塔を祀る。のち六地蔵を建立。	R02	384
	於呂榊神社境内★	史跡	「鷲ノ宮」ともいう。榊の周囲に神饌米を植えた。	R02	387
	於呂八幡神社境内★	史跡	於呂神社末社。手水鉢に「享保二十年」とある	R02	388
	於呂の馬頭観音像	有形民俗	秋葉街道沿いにある石造馬頭観音像。	R04	606
	西光院境内★	史跡	正保元年、龍泉寺二世の月巢香鶴を迎え開山とした。	R04	603
	於呂神社境内★	史跡	延喜式の「於呂神社」に比定される。	R04	604
	於呂神社内古墳	史跡	直径23.8m高さ3.9mの大型円墳。刀剣ほか出土。	R04	605
根堅	岩水寺仁王門★	建造物	元禄ころと伝わる境内最古の建造物。	H29	171
	岩水寺阿弥陀如来像	彫刻	平安時代の作と伝わる木造坐像。	H29	170
	岩水寺大日如来像	彫刻	鎌倉時代の作と伝わる大型の木造坐像。	H29	172
	岩水寺聖徳太子像	彫刻	江戸時代の作と伝わる木製立像。	H29	173
	岩水寺青銅阿弥陀如来像	彫刻	正徳4年(1714)、京都の仏師による鑄造坐像。	H29	174
	岩水寺不動明王像	彫刻	安土桃山時代の作と伝わる木造立像。脇本尊。	H29	175
	岩水寺毘沙門天像	彫刻	室町時代の作と伝わる木造立像。	H29	176
	岩水寺愛染明王像	彫刻	室町時代の作と伝わる木造坐像。脇本尊。	H29	177

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
根堅	岩水寺薬師如来像	彫刻	白山神社の秘仏。江戸時代の作と伝わる立像。	H29	178
	岩水寺十一面観音像	彫刻	安土桃山時代の作と伝わる木造立像。	H29	179
	岩水寺千手観音像	彫刻	太子堂の秘仏。安土桃山時代作と伝わる立像。	H29	180
	岩水寺妙見菩薩像	彫刻	秘仏。星祭りを司る仏。江戸時代の作と伝わる。	H29	181
	岩水寺地安坊大権現像	彫刻	天保2年(1831)神名帳に記載される立像。	H29	183
	岩水寺十二神将像	彫刻	秘仏。薬師堂の厨子に収まる。江戸時代の作。	H29	184
	岩水寺袖ヶ浦干水記	古文書	江戸時代。本尊子安地蔵(重文)の由来を記す。	H29	182
	岩水寺伽藍★	建造物	創建が古代に遡る古刹、多くの建物が並ぶ。	H30	218
	岩水寺白山神社境内★	史跡	坂上田村麻呂伝承に関わる俊光将軍を祀る。	H30	221
	岩水寺の松島十湖句碑★	有形民俗	明治24年建立、「山吹や人の富貴も水の泡」。	R02	401
	岩水寺の賀茂真淵歌碑★	有形民俗	昭和期の建立、真淵が岩水寺を詠んだ歌を刻む。	R02	402
	岩水寺の松尾芭蕉句碑★	有形民俗	明治元年建立、芭蕉の旅立つ僧への句を刻む。	R02	403
	岩水寺八幡神社境内★	史跡	天正13年から明治期までの棟札を残す。	R02	400
	岩水寺石灰採掘工場跡	史跡	江戸時代から昭和50年までの石灰岩採掘場跡。	R04	619
	岩水寺遊園地跡	史跡	鉄道敷設以降の遊園地やホテルなどの跡地。	R04	620
	根堅祭りの神輿	有形民俗	神仏混交の祭りで使用される大小の神輿。	H30	220
	地安坊(大権現)境内★	史跡	「根の方詣り」の中心となり、信仰を集めた。	H30	219
	根堅の道標群★	歴史資料	根堅地区に残る道標を一括して認定。	R02	385
	山下青厓記憶碑★	歴史資料	貴布祢出身の日本画家の記念碑、昭和6年。	R02	404
	根堅の馬頭観音像★	有形民俗	天保4年、石製。	R02	389
	根堅の双体道祖神像★	有形民俗	左の像は錫杖を持ち、右の像は頭に髪状が見える。	R02	390
	根堅の耳足地蔵像★	有形民俗	人形山から降ろして祀る。子どもと遊ぶとの伝承。	R02	391
	根堅の大原御前祠★	有形民俗	江戸時代に薬草で病気治癒をした御前を祀る。	R02	399
	人形山3号墳	史跡	6世紀後半、横穴式石室全長5.6m。	R02	393
	將軍塚古墳	史跡	直径15m、高さ3mの円墳、横穴式石室。	R02	394
	座禅岩	名勝	明徳4年来訪した洞巖玄鑑が座禅した岩という。	R02	397
	上臈岩及び御座岩	名勝	民話「大原御前」に登場する。現地踏査は不可。	R02	398
	岩水寺鍾乳洞	天然記念物	長さ114m。七夕豪雨で崩落、現在は立入禁止。	R02	395
	根堅鍾乳洞	天然記念物	内部に滝と池があった。現在は立入禁止。	R02	396
	根堅石灰窯跡	近代化遺産	安永3年創業の石灰産出場跡に残る施設。	R02	392
	根堅山住神社御旅所★	有形民俗	岩水寺地安坊と山住神社の神輿が渡御する。	R04	617
	根堅祭典	無形民俗	8月24日、岩水寺と山住神社の神輿が巡行する。	R04	616
	安泰寺境内★	史跡	方広寺四世の仲翁建澄和尚の創設。現在は無住。	R04	607
	龍泉寺境内★	史跡	明徳4年、豊後の洞巖玄鑑が開山。当時は雲巖寺。	R04	608
	田村將軍神社境内★	史跡	坂上田村麻呂伝説にちなみ、明治期末に創建。	R04	612
	金城稻荷神社境内★	史跡	御神体は茶吉尼天、本地仏として白晨狐菩薩を祀る。	R04	613
	毘沙門宮跡★	史跡	明治期に取り壊された毘沙門宮の跡。	R04	614
	根堅遺跡	史跡	昭和37年、旧石器時代の「浜北人」人骨が出土した。	R04	618
	北谷遺跡	史跡	岩水寺墓地付近の丘陵上にある縄文時代の遺跡。	R04	621
	根堅相野	松杉神社境内★	史跡	享保8年頃、集落の病氣平癒祈願で建立したと伝う。	R04
根堅相野の地蔵菩薩像		有形民俗	「おもて志は本道権口ふ口」、「此方気賀かなさし道」。	R04	615
根堅大門	雲岩寺六所神社境内★	史跡	雲岩寺(現在の竜泉寺)の産土神として創建。	R04	610

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号	
根堅大門	根堅山住神社境内★	史跡	戦国時代に岩水寺の守り神として山王権現を建立。	R04	611	
尾野	金刀比羅神社格天井絵	絵画	嘉永年間の制作、62面それぞれ寄進者がある。	H30	223	
	金刀比羅神社巫女神楽	無形民俗	安政3年(1856)から継続している巫女神楽。3月と10月。	H30	224	
	金刀比羅神社境内★	史跡	安永6年(1777)の火災以降に現在地に移転。	H30	222	
	高根神社境内★	史跡	背後に磐座がある社殿、文亀2年(1502)建立。	H30	225	
	尾野の塹壕	史跡	昭和19年頃に本土決戦に備えた塹壕。	H30	226	
	尾野の馬頭観音像★	有形民俗	馬頭観音の下に道標と「馬子連中」と刻む。	R02	405	
	養徳寺地藏堂の石仏★	有形民俗	六地藏と3体の如意輪観音、寛保元年が最古。	R02	406	
	高根山古墳	史跡	6世紀、高根神社背後の古墳群で最大規模。	R02	407	
	行幸記念碑★	歴史資料	昭和21年の昭和天皇行幸を記念し、赤佐村が建てた。	R04	624	
	大宝寺境内★	史跡	応永年間に竜泉寺の末として開創、現在地に移転。	R04	622	
	八面神社境内★	史跡	寛永17年再興の神札がある。現在地に再興された。	R04	623	
	温故塾跡地	史跡	尾野村の庄屋らが開いた教場、「温故塾」と命名。	R04	625	
	高根山防空壕	史跡	高根山北斜面で発見された手掘りの防空壕、奥行き10m。	R05	702	
宮口	宮口の三階屋台	有形民俗	文政4年(1821)年、名古屋の山車として建造。	H28	65	
	宮口野口辻の傍示木★	歴史資料	「ぼんじぎ」と呼ぶ。文化5年、秋葉街道沿い。	R01	291	
	九勇士の碑★	歴史資料	アメリカ軍に撃墜された旧陸軍の乗員慰霊碑。	R01	292	
	宮口洗沢の秋葉山常夜灯鞘堂★	有形民俗	昭和5年に建立。切妻造りの屋根。	R01	286	
	宮口土取の寶頭盧尊者像	有形民俗	安永3年の石仏、かつてここに徳林寺があった。	R01	287	
	宮口三十三観音霊場の観音像★	有形民俗	8か所に複数の石仏を配置。嘉永3年と刻む。	R01	290	
	庚申寺境内★	史跡	明徳元年の開創、江戸時代の境内景観を残す。	R01	284	
	報恩寺境内★	史跡	宝永4年の再興。本堂は安政5年の建立。	R01	285	
	大屋敷墳墓★	史跡	鎌倉時代の五輪塔がある積み石の墳墓。	R01	288	
	陽泰院境内★	史跡	永正3年開創、三十三観音霊場。	R01	289	
	宮口の道標群★	歴史資料	宮口地区に残る道標を一括して認定。	R02	408	
	宮口の馬頭観音像★	有形民俗	荒地で発見されたものを梶池交差点に祀った。	R02	409	
	宮口の秋葉山常夜灯群★	有形民俗	宮口地区に残る秋葉山常夜燈を一括して認定。	R02	410	
	藤村観音堂の石仏★	有形民俗	創建年代不詳、大屋敷の集落で祀る。	R02	411	
	恩光寺七面堂天井の花鳥画	絵画	身延山の飛び地である山梨県七面堂本尊の分身。	R04	627	
	恩光寺境内★	史跡	身延山の直末・遠光寺として開山。江戸末期に移転。	R04	626	
	新原	新原の阿弥陀三尊塚	有形民俗	正徳2年新原村結衆中善願と刻む。	R01	280
		新原の馬頭観音像群★	有形民俗	秋葉道の辻に建立。初午の日に読経後菓子を配る。	R04	629
新原の道標群★		歴史資料	新原本村の道標と東原の道標(如意輪観音)の2点を一括。	R05	701	
新原の秋葉山常夜灯★		有形民俗	昭和41年以前の建立、現在でも代参が行われている。	R05	700	
新原東原	津島神社境内★	史跡	江戸時代には牛頭天王、神仏分離令により津嶋神社。	R04	628	
新原本村	瑞應寺境内★	史跡	三方ヶ原の戦いで、着陣した武田軍の家臣が建立。	R04	630	
大平坂下	大平の石造仏	有形民俗	大平地内の石造物を一括して認定。	R04	634	
	須部玉稻荷神社境内★	史跡	平成11年、新東名建設によって現在地に移転。	R04	633	
大平大沢	カラネコ様(唐猫様)石碑	有形民俗	鼠を退治した猫の置物を祀ってあった場所。	R04	635	
大平向	大平伏見稻荷	有形民俗	かつて勧請した伏見稻荷を移設。	R04	636	
大平	大平の秋葉山常夜灯★	有形民俗	集落内の2件を一括。	R04	637	
	宝幢寺境内★	史跡	方広寺の家児慧琳を招き、宗良親王供養のため開山。	R04	631	

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
大平	大平六所神社境内★	史跡	この地に逗留した霊力のある旅の老婆を祀る。	R04	632
	枕瀬橋★	建造物	明治16年の都田川溪谷架橋から架け替えを繰り返す。	R05	695
	大平(おいだいら)経塚★	伝承地	付近の小字名「経塚」の地に土盛が残る。	R05	694
堀谷(ほりや)	堀谷洞窟の不動明王像	有形民俗	北側の集落内から洞窟内に移動、江戸時代。	R02	412
	堀谷の秋葉山常夜灯★	有形民俗	堀谷地区に残る秋葉山常夜燈を一括して認定。	R02	413
	堀谷の馬頭観音像★	有形民俗	堀谷地区の馬頭観音像を一括して認定。	R02	414
	堀谷六所神社境内★	史跡	六所神社は元禄12年勧請、周囲に大木がある。	R02	415
	堀谷荒繩(あらはばき)神社境内★	史跡	参道の両側に磐座がある。巨岩信仰と思われる。	R02	416
	堀谷清水井戸跡★	史跡	地区唯一の遊水地、生活用水。現在は痕跡。	R02	417
	徳泉寺境内★	史跡	明徳年間創建、焼失後現在地に移転。木食仏11体。	R04	638
堀谷東谷	堀谷洞窟遺跡	史跡	縄文土器が出土、不動明王が祀られている。	R04	639
灰木	灰木のアンデラ	有形民俗	庚申寺末の尼寺で、地元では「アンデラ」と呼ぶ。	R04	641
	灰木の秋葉山常夜灯	有形民俗	石灯籠、明治期か。「講中安全」とある。	R04	642
	灰木六所神社境内★	史跡	元禄14年修復の記録がある。昭和12年に改築。	R04	640
細江町	引佐細江とみをつくし★	文化的景観	姫街道の引佐峠など、浜名湖が眺望できる景観。	R04	586
	細江小唄	記憶遺産	昭和30年細江町成立時に制作。姫様道中に導入された。	R05	672
	五味半島★	文化的景観	姫街道小引佐峠から見た浜名湖に突き出た景勝地。	R05	686
細江町小野	旧軽便鉄道奥山線井伊谷川橋脚★	建造物	旧軽便鉄道奥山線の井伊谷川鉄橋の橋脚基部。	R04	580
	水岩山疣観音と石仏群★	有形民俗	井伊谷川の淵で4月の第一日曜日に祭礼がある。	R04	579
	旧小野公民館装飾瓦	歴史資料	昭和10年建設した旧公民館の屋根瓦を保存する。	R05	676
	小野の大念仏の鉦	有形民俗	明治末期まで小野で行われた大念仏の鉦を保管する。	R05	673
	小野の馬頭観音像★	有形民俗	笹方峠が開通後、奥山へ向かう街道にある。2点。	R05	675
	光月神社境内★	史跡	もとは光月坊、廃仏毀釈で光月神社となる。齒の神様。	R05	674
細江町伊奈	伊奈の弘法大師像	有形民俗	地元では「伊奈大師」と呼び、毎年祭りを開催する。	R04	582
細江町気賀(伊目)	伊目の秋葉山常夜灯★	有形民俗	寛政年間に伊目村の建てられた石塔と龍灯。	R04	583
	伊目の精霊流し	無形民俗	8月16日、伊目の入江から灯籠を湾奥まで流す。	R04	581
	伊目の大坪観音	有形民俗	おできに効果があるとされ信仰を集めた。	R05	688
	伊目の観音像★	有形民俗	聖観音と思われる石像と「観世口」と刻む石碑がある。	R05	689
細江町気賀(寸座)	寸座の道標	歴史資料	佐久目に向かう旧道にあたるという。「さく口」と刻む。	R05	691
	寸座の十三仏石碑★	有形民俗	かつて小石塚にあったという。自然石に「十三佛」と刻む。	R05	690
細江町気賀	細江神社の祇園まつり	無形民俗	明応地震の津波によるご神体の渡御を再現する。7月。	H28	64
	細江神社の永代三日夜燈★	有形民俗	幕末の騒動が解決した記念として、住民が寄進した。2点。	R05	679
	日本基督教団気賀教会礼拝堂	建造物	大正4年(1916)の木造建築。日曜礼拝見学可。	H29	127
	岩根薬師堂★	建造物	旧姫街道沿いにある堂。天保6年、方形寄棟。	R02	334
	岩根の秋葉山常夜灯★	有形民俗	文化2年に建立された。姫街道は秋葉道を兼ねた。	R05	687
	法源禅師扁額「水岩山」★	書跡	かつての御堂に掛かっていた法源禅師の扁額。	R04	584
	細江八景の句碑★	有形民俗	「細江八景」の句碑を鈴木角平が門人とともに建てた。	R04	594
	細江八景の扁額	書跡	細江八景を詠んだ俳句を設楽春山による扁額とする。	R04	595
	千日堂阿弥陀如来坐像	有形民俗	宝永年間に千日講本尊として阿弥陀仏を祀った。	R04	588
	千日堂聖観音立像	有形民俗	寛文11年近藤家下屋敷にあった観音を移して祀った。	R04	589
	千日堂の念仏	無形民俗	宝永年間に千日講を行った。現在でも毎月9日に開催。	R04	587
	老ヶ谷の六地藏★	有形民俗	刑死者の霊を慰めるため正徳2年に建設されたと伝う。	R04	590

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
細江町気賀	獄門囀★	史跡	永禄12年堀川城が落城、住民約700人が刑死した。	R04	591
	気賀宿の柵形遺構★	史跡	気賀宿の西入口にあたる。南側の石垣だけが残る。	R04	592
	藺草神社★	史跡	宝永地震以降、琉球藺を奨励した近藤用随を祀る。	R04	593
	犬くぐり道★	伝承地	住民の往来のため、領主が方便として設けた裏道。	R04	585
	正明寺山門★	建造物	廃仏棄釈で廃寺となった刑部新屋の宗安寺山門を移築。	R05	684
	正明寺の永代三日夜燈★	有形民俗	幕末の騒動が解決した記念として、住民が寄進した。	R05	678
	青春像★	歴史資料	昭和48年度の細江町青年団中央支部が退団にあたり制作。	R05	683
	名倉藤三郎墓碑★	歴史資料	三遠農学社の名倉藤三郎の墓、松島十湖が揮毫。	R05	682
	山田の道祖神と馬頭観音★	有形民俗	姫街道沿いにある道祖神と馬頭観音像2点。	R05	680
	真光寺の寿命経塔★	有形民俗	高さ約5mの石塔、中央部に阿弥陀如来を祀る。	R05	681
	山田一里塚★	史跡	姫街道の江戸から69里目の一里塚跡。塚は滅失。	R05	685
	吾跡川楊(あとがわやなぎ)★	伝承地	「吾跡川楊」の推定地。『万葉集』の歌碑を建設してある。	R05	677
	長楽寺扁額(独湛筆)★	書跡	黄檗宗独湛による「光岩山」、「長楽寺」の2面。	R02	335
	長楽寺毘沙門天・不動明王◆	彫刻	本尊の馬頭観音坐像の脇侍として安置。江戸時代作と伝えられる。	R06	750
	長楽寺土堀★	建造物	日本では珍しい日干しレンガが使用されている土堀。	R06	751
	長楽寺山門★	建造物	江戸初期に建立。瓦の両辺には鷹があしらわれている。	R06	752
	長楽寺石仏★	建造物	満天星の庭にある高さ100cmの釈迦の石仏。江戸初期作とされる。	R06	753
	姫街道鉄道株式会社創立願書・姫街道鉄道起業目録見書★	歴史資料	明治29年6月10日に通信大臣白根専一に提出された文書。	R06	754
	姫街道姫岩(平岩)の図★	歴史資料	幕末から明治にかけて描かれた姫街道の平岩(姫岩)の見取り図。	R06	755
	遠三自動車時刻表★	歴史資料	昭和7年(1932)～昭和12年(1937)に発行された遠三自動車の時刻表3点。	R06	756
浜松電話番号簿★	歴史資料	明治43年(1910)に浜松郵便局が発行した浜松電話番号簿。	R06	757	
気賀自動車時刻表★	歴史資料	昭和9年(1934)に発行された気賀自動車の時刻表3点。	R06	758	
細江町中川	田米寺橋南の道標★	歴史資料	旧秋葉街道沿い、「右 あきはみち」「左かなさしみち」。	R04	597
	田米寺橋南の秋葉山常夜灯★	有形民俗	都田川南岸の秋葉街道沿い、河川改修のため移転。	R04	598
	宿名の六地藏(雲泉寺跡)★	史跡	雲泉寺跡に六地藏だけが残る。	R04	599
	井伊直親の墓★	史跡	永禄5年、殺害。嘉永4年に井伊直弼が灯籠を寄進。	R04	600
	中川の条里制遺称★	文化的景観	都田川下流の小平野に施工された条里制水田跡。	R04	596
	三方ヶ原の戦い史跡碑★	歴史資料	大正13年、当時の中川村村長が建立した。	R04	601
	中川寺の宝篋印塔(おんころ様)★	有形民俗	三方原の戦いで戦死した信玄配下の供養塔と伝。	R03	489
	祝田坂★	史跡	武田信玄隊が三方ヶ原を下った道筋のひとつ。	R05	692
引佐町小斎藤	「小組」の屋台行事とお囃子	無形民俗	9月末、子どもたちが生き人形として神社まで曳き回す。	H30	213
引佐町井伊谷	正泉寺涅槃図	絵画	元禄16年(1703)、京都で製作された大幅。	H28	57
	井殿の塚★	史跡	井伊直満・直義墓所。タブノキの巨木がある。	H28	63
	井伊谷二宮神社の先囃子	無形民俗	8月10日、宗良親王の命日にあたる例大祭。	R02	340
引佐町伊平	滝清水千手観音像★	彫刻	旧爆岩山清水寺の本尊。元禄9年(1696)寄進。	H28	45
	滝清水役行者像★	有形民俗	旧清水寺の裏山山頂にある石像。	H28	54
	松山聖観音像★	彫刻	寛文11年(1671)仏坂観音堂に寄進された石仏。	H28	46
	松山馬頭観音像★	彫刻	江戸時代後期に、観音講が寄進。	H28	47
	伊平の阿弥陀如来像	彫刻	「アミダ谷」に祭られていた石像を移転。	H28	51
	長興寺聖観世音菩薩像	彫刻	嘉慶元年(1387)に開創した長興寺の本尊。	H28	55
	井平氏墓所	史跡	井平直種と妻、嫡子弥三郎の墓所。	H28	49
	林森神社境内★	史跡	天正8年(1580)、直種が六所神社として創建。	H28	52

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【浜名区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
引佐町伊平	野末基左衛門の墓★	史跡	井平家の家老を務めた。文禄3年(1594)没。	H28	53
	伝井平城跡★	伝承地	井伊家分家・井平氏の居城跡と伝わる。	H28	44
	伝井平氏居館跡★	伝承地	井伊家分家・井平直時の居館跡と伝わる。	H28	48
	伝井平氏の殿村居館跡	伝承地	井伊直平末子直種が井平氏を再興、居館とする。	H28	50
引佐町奥山	馬門の神楽	無形民俗	半僧坊と奥山神社で奉納、1700年頃から伝わる。10月。	H30	211
	奥山の手筒花火	無形民俗	富幕、西四村、中村に保存会がある手筒花火。10月16日。	H30	212
引佐町金指	実相寺鐘樓門★	建造物	実相寺の伽藍配置の一棟、明治期に改修。	H28	42
	実相寺涅槃図	絵画	宝永7年(1710)、金指の豪商が寄贈。	H28	43
	近藤季用の墓★	史跡	旗本金指近藤家初代、実相寺庭園に近接。	H28	41
	金指市神様の祭祀	無形民俗	安政3年(1856)から継続している巫女神楽。3月と10月。	H28	40
引佐町川名	溪雲寺境内★	史跡	井伊直平菩提寺。	H28	59
	井伊直平の墓★	史跡	三岳山北麓にある。幕末に彦根藩が墓碑を建立。	H28	60
	伝鎧橋跡★	伝承地	急死した井伊直平の鎧を脱がせたと伝わる橋跡。	H28	61
引佐町渋川	大石勝太郎頌徳碑★	歴史資料	渋川の発展に尽くした大石勝太郎の功績を讃える石碑。	R06	747
	渋川忠魂碑★	歴史資料	大正12年(1923)に建てられた忠魂碑。	R06	748
	渋川新道碑★	歴史資料	渋川新道の竣工に貢献した大石喜三郎を讃えて建てられた石碑。	R06	749
引佐町兔荷(とつか)	兔荷鳶ノ巢山の行者様	有形民俗	山頂の大岩の下に鎮座する。10月に祭祀。	R01	273
	得月寺境内★	史跡	伊平の寺院、応永32年の開創と伝わる。	R01	274
	兔荷六所神社境内★	史跡	神社の裏山に雨の岩戸と呼ぶ磐座がある。	R01	275
	兔荷鍾乳洞	天然記念物	全長190m、飲料水源のため立入は不可。	R01	276
引佐町東久留女木	東久留女木の万歳楽	無形民俗	2月に阿弥陀堂で行う祭事、芸能は失われた。	H28	56
	久留女木の棚田★	文化的景観	日本の棚田百選。井伊家が開墾したという。	H30	214
引佐町東黒田	東黒田奉行屋敷跡	史跡	近藤家の山奉行だった宮田家の屋敷跡。	R01	271
引佐町別所	本龍寺涅槃図	絵画	元文4年(1739)に制作。	H28	58
引佐町三岳	楠御前の墓★	伝承地	三岳城で宗良親王に従った女性の墓と伝わる。	R01	272
三ヶ日町岡本	初生衣神社おんぞ祭り	無形民俗	赤引き糸を使った絹織物を伊勢神宮に奉納する。現在は4月。	R01	277
三ヶ日町平山	才の神宿場の景観★	文化的景観	三州街道の平山越え国境にあたる旧道に沿う。	R02	339
三ヶ日町(本坂)	本坂の秋葉山常夜灯★	有形民俗	姫街道沿いの丁字路にある。	R03	492
	本坂高札場跡★	史跡	姫街道沿いの丁字路にある。石垣が残る。	R03	491
三ヶ日町三ヶ日	内山牛松関係資料	歴史資料	家業のかたわら画業で河童の絵を中心に描いた。	R02	337
	日野屋関係資料	歴史資料	江戸後期に近江商人が開業した醸造店の資料。	R02	338
(個人蔵)	浜松城主井上正直屋敷図	古文書	江戸の井上家屋敷の図面が現存する。	H29	185

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【天竜区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
二俣町二俣	長光寺涅槃図	絵画	宝暦5年(1755)、栄林寺と構図が似る。	H28	76
	栄林寺涅槃図	絵画	元禄元年(1688)寄進。猫を描く。	H28	78
	二俣町二俣の秋葉山道標★	有形民俗	「右秋葉、光明」、「左浜松、右鳳来」と刻む。	H28	74
	笹岡城跡	史跡	天竜区役所付近にあった古城。曲輪が残る。	H28	80
	光明電鉄阿蔵トンネル	近代化遺産	昭和3年開業、11年廃線の軌道跡。	H28	81
	わんやの蔵	建造物	明治40年(1907)建設、総2階建ての土蔵。	H29	137
	藤井陶器店の蔵	建造物	慶応4年(1868)建設、2棟。見学不可。	H29	138
	マルカワの蔵	建造物	大正15年以前建設。店舗兼住宅と連結。	H29	150
	旧鎌田屋商店	建造物	昭和16年以前の商家。見学不可。	H29	152
	二俣医院	建造物	大正期の木造建築を残す医院。	H29	157
	二俣医院の蔵	建造物	明治30年に移築、座敷蔵として使用された。	H29	158
	旧米徳酒店	建造物	昭和の看板建築がある旧酒店。立入は不可。	H29	161
	旧陣屋旅館	建造物	木造3階建ての旅館として営業した。立入不可。	H29	162
	鈴木徳十商店の蔵	建造物	明治20年代に建設。茶業を営んだ蔵。	H29	163
	藤屋醤油店	建造物	明治10年頃建築。店舗部分のみ見学可。	H29	167
	旧和田医院の蔵	建造物	昭和8年上棟の棟札がある道具蔵。	H29	186
	旧鎌田屋商店のガソリン計量器★	歴史資料	昭和2年(1927)に設置。高さ240cm。	H29	151
	天龍橋料金入箱	歴史資料	明治44年から鹿島橋の通行料を徴収した箱。	H29	142
	袴田喜長翁顕彰碑★	歴史資料	二俣川の掘割を建設した袴田喜長を顕彰する。	H29	153
	小沢義助像台座	歴史資料	昭和8年、碑文は犬養毅。当時の銅像は供出。	H29	168
	下阿多古の消防手曳ガソリンポンプ	歴史資料	大正12年製造、下阿多古村で寄贈された。	H29	192
	二俣新町南口連屋台	有形民俗	明治期の製作。二俣諏訪神社の祭礼の屋台。	H29	146
	二俣まつり	無形民俗	諏訪神社の祭礼、13台の屋台を曳きまわす。現在8月開催。	H29	155
	鳥羽山洞門★	近代化遺産	明治32年竣工の隧道。坑道はレンガづくり。	H29	169
	鳥羽山の掘割★	史跡	寛政元年、袴田喜長が掘削した二俣川放水路。	R01	305
	清瀧寺涅槃図	絵画	制作年不詳ながら奈良型の構図として希少。	H30	227
	清瀧寺信康廟★	史跡	二俣城で自刃した信康をまつる。延宝6年建立。	H30	228
	清瀧寺寺領絵図	歴史資料	元禄頃の清瀧寺周辺を描く。信康廟ほかも表記。	R02	428
	二俣古城連の屋台	有形民俗	明治30年建造。水引幕は大正14年に製作。	R01	293
	二俣諏訪神社祭典記録	歴史資料	明治32年(1899)～昭和27年(1952)の年番記録。	R02	427
二俣の小路(しょうな)景観★	文化的景観	街道沿いの街並みに地名とともに路地が残る。	R02	426	
二俣町阿蔵	玖延寺涅槃図	絵画	天明2年(1782)京都にて製作。	H28	77
	玖延寺弘法大師像	有形民俗	弘法大師と観音2体を三尊に刻む石像。	H28	75
	光明電鉄二俣口駅ホーム跡★	近代化遺産	昭和3年開業、11年廃線の軌道跡。	H28	82
二俣町鹿島	鹿島の船宿	建造物	田代家に隣接。明治時代に筏師が宿泊。	H28	69
	鹿島の花火	無形民俗	明治8年(1875)頃、椎ヶ脇神社奉納として開始。8月。	H29	149
	旧太田製作所のトロッコ軌道跡	近代化遺産	最盛期に50余の製材工場があり、レールが残る。	R01	301
	金貸水神社境内★	史跡	借用証文に書いた病気を返済に充てる願掛け。	R03	530
	建部新八郎慕徳碑及び石灯籠★	有形民俗	鹿島尋常小学校訓導の碑、建部家寄進石灯籠。	R03	532
	建部新八郎墓碑★	史跡	鹿島尋常小学校訓導・建部夫妻と長女の墓。	R03	533
	伊奈忠次判物	古文書	伊奈忠次から椎ヶ脇社に宛てた安堵状。黒印有。	R03	528
	椎ヶ脇神社本殿	建造物	梁簡に「天正十九年」「堀尾光景」ほかの墨書。	R03	526

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【天竜区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
二俣町鹿島	椎ヶ脇神社の祭礼関係資料	有形民俗	天保6年製作の神輿と勸進帳、ほか神鏡3面。	R03	527
	椎ヶ脇神社の宝篋印塔★	有形民俗	「田村将軍碑」と称する2基、室町時代と推定。	R03	529
	椎ヶ脇神社の神輿渡御	無形民俗	8月上旬、神輿と屋台が対岸の御旅所を往復。	R03	531
	椎ヶ脇神社太刀鬼神丸関係資料	歴史資料	G H Qに押収され所在不明となっている太刀の写真ほか。	R05	703
	椎ヶ脇神社本殿棟札	歴史資料	堀尾光景が天正19年に本殿を寄進したと記す。	R05	704
	椎ヶ脇神社境内見取絵図	歴史資料	明治5年に作成された絵図、鹿島十分一番所を表記する。	R05	705
	椎ヶ脇神社由緒略碑★	歴史資料	昭和15年、皇紀二千六百年記念事業として建立した。	R05	706
	徳川家朱印状写	歴史資料	椎ヶ脇神社に与えられた徳川家歴代の安堵状の写し。	R05	707
	椎ヶ脇神社の常夜灯★	有形民俗	文化14年に船越一色村の渡船衆が寄進した。火袋欠。	R05	708
	椎ヶ脇神社御旅所★	史跡	北鹿島村神明社・白山神社の跡地、神輿渡御の滞在地。	R05	709
山東	旧光明村立山東尋常小学校門柱★	建造物	大正14年(1925)の大正天皇銀婚を祝して建設。	H29	132
	二光の滝★	史跡	昭和7年、二俣川の流路を付替えて生じた段差。	R01	306
山東・只来	光明勝栗(こうみょうかちぐり)	伝統的生活文化	天正3年光明村が徳川家康に献上した搗栗。	R01	295
大谷	赤石構造線赤石裂線★	天然記念物	直線的な断層崖を旧信州街道が縦断する。	H28	68
船明(ふなぎら)	旧順誠堂齋藤医院	建造物	明治20年(1887)建設の医院。外観のみ見学可。	H28	73
	長養寺涅槃図	絵画	安永9年(1780)作。会衆の名前を表記する。	H28	85
	長養寺馬頭観音像	有形民俗	合掌型の石像。製作年不詳。	H28	86
	長養寺道祖神★	有形民俗	天保14年(1843)、石像、秋葉街道から移築。	H28	87
只来	只来の集落景観★	文化的景観	小盆地に屋号を持つ屋敷と小宇が残っている。	R02	429
横山町	横山八幡神社の祭礼	無形民俗	8月14,15日に神輿渡御と屋台引き回しがある。	R01	294
	横山の雨乞淵★	名勝	落差12m、雨ごいで大蛇が雨を降らせたと伝う。	R01	302
	横山の不動の滝★	名勝	落差6m、行者の修行の場。不動尊を祀る。。	R01	303
	竜川地区忠霊塔★	建造物	昭和34年建設、六角堂に地区の戦没者を祀る。	R02	430
	青山邸◆	建造物	江戸後期から幕末に林業の基礎を築いた青山家の明治時代の邸宅。	R06	743
谷山	佐久の稚児の滝★	名勝	落差15m、光明寺の稚児が修行したと伝わる。	R01	304
西雲名～小川	雲名秋葉橋★	建造物	橋長204mの吊橋、現橋は昭和46年架設。	R02	431
熊	熊平家住宅	建造物	明治26年(1893)建築、ケヤキを多用している。	H28	70
	六郎沢の水辺空間★	文化的景観	六郎沢の山間地稲作の景観とホテルの生息地。	H29	154
	熊市場の時計台台座	歴史資料	大正後期の時計台の台座。	H30	229
	熊の鏡石★	史跡	円形の岩。向きを変えたという伝承がある。	H30	230
	熊の黒滝★	名勝	上下2段の滝、付近に不動尊をまつる。	H30	231
神沢	神沢の庚申塔★	有形民俗	文政4年(1821)、青面金剛を精緻に彫る。	H30	232
	大日山守護神堂★	有形民俗	延徳3年(1491)の棟札が残る。神と仏をまつる。	H30	234
	大日山浄水井戸★	史跡	通称「水の口」にある井戸跡。大日詣での入口。	H30	235
	荒沢不動の滝★	名勝	枯山の裾にある男滝、女滝と称する2本の滝。	H30	233
大栗安	大栗安の棚田★	文化的景観	標高450m前後の2か所に展開する棚田。	H30	236
石神	旧石神小学校校舎★	建造物	昭和2年(1947)建設、木造2階建て。	H28	79
	石神市場の電燈様★	有形民俗	秋葉常夜燈の鞘堂。常夜燈は文化6年(1806)。	H28	72
米沢(みなさわ)	米沢(みなさわ)のごんぐら	建造物	村の年貢米を備蓄した「郷倉」、移築と伝わる。	H28	71
春野町領家	秋葉山表参道★	史跡	春野町坂下から秋葉寺を經由し上社への参道。	H29	166
	領家秋葉橋★	建造物	大正15年架橋、鋼プラットラス橋、橋長94m。	R02	432
	九里橋★	建造物	現橋は昭和38年竣工、秋葉山表参道の起点。	R02	433

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【天竜区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
春野町領家	西領家の庚申堂★	有形民俗	昭和7年建立、青面金剛を安置する。	R03	534
	金蔵坊大日如来堂★	有形民俗	明治44年に無病息災を祈願して建立。	R03	535
	領家六所神社境内★	史跡	承久元年鎮座と伝。文政11年の大水により現在地に移転。	R05	739
	津島神社天王神社境内★	史跡	明治33年(1900)の棟上がある。6月に祇園祭りを開催する。	R05	740
春野町堀之内他	春野町犬居の秋葉山常夜灯群★	有形民俗	小奈良安ほか春野町内の5件の常夜灯を認定。	R03	536
	春野町犬居の道標群★	有形民俗	学制発布50周年記念の道標ほか3件を認定。	R03	539
春野町堀之内	犬居の石像水難慰霊地蔵★	歴史資料	万延元年(1860)、気田川の渡船の水難者を慰霊する。	R04	648
	龍勢社屋台幕	有形民俗	明治末期に京都から購入した「双竜」の屋台幕。	H30	239
	高札(五榜の掲示第五札)	歴史資料	明治政府の布告、第五札「郷村脱走の禁止」。	R02	435
	行者山の役行者像★	有形民俗	宝暦2年建立、護摩炊きの後で炭を拾う。	R02	438
	熱田神社境内★	史跡	文禄3年(1594)の造立と伝。現社殿は明治41年改築。	R05	737
	松本屋旅館	建造物	明治10年創業、大正3年大火後の移築。	R01	308
	若身橋★	建造物	大正15年架設。RC桁、全長32m。	R02	437
	若身の大日如来像	有形民俗	宝暦2年。秋葉街道の旧茶屋跡付近にある。	R03	538
	若身鷹尾連の屋台 附天幕	有形民俗	明治24年製作の御所車型屋台、天幕は大正期。	R03	544
	若身八幡神社境内★	史跡	成立年不詳、8月に祭礼を継続。	R05	734
	堀之内静修のヤマザクラ★	天然記念物	日露戦争の戦勝記念に植えられた。	R02	436
	静修の大日山道標	有形民俗	安政2年。小奈良安から大日山への分岐にある。	R03	537
	静修六所神社境内★	史跡	成立年不詳、明治7年に熱田神社へ合祀、その後再建。	R05	735
	意昌庵のヤマザクラ★	天然記念物	日露戦争の戦勝記念に植えられた。樹高11m。	R02	440
	意昌庵のサルスベリ★	天然記念物	樹齢約100年、樹高約7m。	R02	441
	意昌庵の石造地蔵群★	有形民俗	「左秋葉山道」と刻む。台座には三猿を刻む。	R04	651
	意昌庵の青面金剛像★	有形民俗	一面六臂、台座に三猿を刻む。建立年代は不明。	R04	652
	瑞雲院の宝篋印塔★	建造物	「皇風永扇 国土昇平 五穀豊穡」ほかの刻銘がある。	R04	656
	瑞雲院の石造地蔵群★	有形民俗	節山亮儀和尚の発願、西領家の河村六郎治が建立。	R04	653
	瑞雲院の石像聖観音★	有形民俗	舜鳳大幸和尚の発願、大乘妙典経供養塔として建立。	R04	654
	瑞雲院の石像青面金剛像★	有形民俗	一面六臂三猿。山門と同じ寛延3年(1750)の建立。	R04	655
	瑞雲院の石造不動明王像★	有形民俗	不動明王像とともに夫婦の戒名が刻まれている。	R04	657
	瑞雲院の龕(がん)	有形民俗	昭和初期まで野辺送りに使われた座棺用の輿。	R02	434
	静修地区の龕(がん)	有形民俗	昭和初期まで使用、50年代まで祭壇で使用。	R02	439
平野(たいらの)八面神社境内★	史跡	慶長6年以前の創建。明治7年熱田神社へ合祀、18年再建。	R05	736	
平尾稲荷神社境内★	史跡	文禄5年に再興と伝。明治7年熱田神社へ合祀、同18年再建。	R05	738	
春野町	小胡桃の石像延命地蔵	有形民俗	天野氏と徳川勢との古戦場と伝えられる場所にある。	R04	649
春野町胡桃平	胡桃平神明神社境内★	史跡	寛正6年(1465)造立と伝。現在の社殿は、大正11年の建築。	R05	719
春野町和泉平	和泉平地区の龕(がん)	有形民俗	昭和初期まで野辺送りに使われた輿形の葬送具。	R02	442
	新宮神社境内★	史跡	養老6年梵天・帝釈天を勧請したと伝。新宮池で祭礼がある。	R05	741
春野町砂川	砂川(いさがわ)の秋葉山常夜灯★	有形民俗	昭和15年。「秋葉山」「東庚申組」。	R03	540
	砂川(いさがわ)八坂神社境内★	史跡	養老年間の創建と伝。現在の社殿は、昭和28年の建築。	R05	721
春野町大時	大時のシダレザクラ★	天然記念物	昭和20年代に植樹されたもの。	R02	443
春野町長蔵寺	出征兵士歓送迎台	歴史資料	昭和13年に旧熊切村が建設、兵士を見送った。	H29	165
春野町石打松下	蛭子(ひるこ)神明神社境内★	史跡	享保8年(1723)西宮宝殿造立の棟札がある。	R05	725
春野町田黒	高札(五榜の掲示第五札)	歴史資料	慶応4年明治政府の高札のうち。個人宅で保管。	H30	237

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【天竜区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
春野町筏戸大上	筏戸大上地区の龕(がん)	有形民俗	昭和初期まで使用、平成末まで祭壇で使用。	R02	444
	筏戸(いかんど)大上熊野神社境内★	史跡	元文3年(1738)の創建。	R05	727
春野町五和	五和神明神社境内★	史跡	五和は、昭和22年に46名が開拓入植、31年に神社創建。	R05	720
春野町越木平	民蔵の墓	有形民俗	伊豆から椎茸栽培を伝えた民蔵の墓標。	R03	541
春野町田河内	田河内の秋葉山常夜灯鞘堂★	有形民俗	江戸時代の創建と伝わる。川根からの街道沿い。	H30	238
春野町花島	蛭子(ひるこ)神社境内★	史跡	永正の頃勧請と伝。元和元年以降の棟札を残す。	R05	710
春野町杉	小国(しょうこく)神社境内★	史跡	『遠江国風土記伝』には、を正国六音大菩薩社と記す。	R05	722
	高杉天神神社境内★	史跡	元禄15年以降数度再建される。灯籠への献燈を継続。	R05	723
	平城(ひらじょう)天王社境内★	史跡	元禄15年以降数度の改修を経る。明治5年合祀、その後再建。	R05	724
春野町川上	川上八幡神社境内★	史跡	永徳元年(1384)勧請と伝。社殿は明治12年の改築。	R05	726
春野町宮川	気多森林鉄道関係資料	歴史資料	車輛に使用された車輪と記録写真を保管。	H28	90
	旧熊切小学校木造校舎玄関彫刻	彫刻	明治17年に製作され、小学校の玄関を飾った。	H29	164
	花島地区の龕(がん)	有形民俗	四角形、昭和50年代まで使用していた。春野歴史民俗資料館所蔵。	R02	445
	宮川里原地区の龕(がん)	有形民俗	昭和35年頃まで使用。白木造り。	R02	446
	平木の常夜灯★	有形民俗	大正4年、御大典記念に平木青年会が建立。	R03	542
	平木八幡神社境内★	史跡	勧請年不詳。宝暦年間に神妻神社から勧請したという。	R05	714
	河内(こうち)八王子神社境内★	史跡	勧請年は不詳だが、天和3年(1683)造立の棟札が現存する。	R05	715
	久保田諏訪神社境内	史跡	寛文13年(1673)以前の成立。現在の社殿は明治29年改築。	R05	716
	里原天神神社境内★	史跡	久安元年(1145)の勧請と伝。地神社・風神社がある。	R05	717
	高瀬熊野神社境内★	史跡	万治2年(1659)造立と伝。高瀬村・夜川十五七百村の氏神。	R05	718
春野町気田	秋葉街道の一杯水碑★	有形民俗	秋葉山から山住山への参道沿いにある遊水地。	R03	543
	南宮(なんぐう)神社境内★	史跡	長久元年(1040)、高野山南宮より本地聖観音を迎えたと伝。	R05	711
	金川(きんがわ)稲荷神社境内★	史跡	明治13年以降の棟札有。南宮神社御輿渡御の御旅所。	R05	712
	郷島稲荷神社境内★	史跡	明治29年(1896)に勧請。境内に寛政6年の旧夷社がある。	R05	713
春野町豊岡	篠原八王子神社境内★	史跡	平木村の枝村から独立。寛永2年(1625)に八王子社を造立。	R05	729
	春野町豊岡篠原地区の龕(がん)	有形民俗	昭和初期まで野辺送りに使われた輿形の葬送具。	R02	448
	春野町豊岡野尻地区の龕(がん)	有形民俗	昭和初期まで野辺送りに使われた輿形の葬送具。	R02	449
	野尻薬師堂の石造地蔵★	有形民俗	田起こしの牛をつないでおいたという重厚な地蔵。	R04	650
	野尻熊野神社境内★	史跡	慶長2年造立。気田川洪水により明治19年現在地に移転。	R05	728
	明神峡★	名勝	勝坂から清流気田川に沿って続く約5kmの渓谷。	R02	450
	旧気田森林鉄道小石間トンネル★	近代化遺産	昭和8年。34年森林鉄道廃止後、県道に改修。	R02	447
	植田八幡神社境内★	史跡	寛文13年(1673)以前の成立。	R05	730
	勝坂八幡神社境内★	史跡	慶長6年(1601)南宮大明神社として造営。勝坂神楽を奉納。	R05	731
	清水神社境内★	史跡	千手観音を祀る。延享2年の棟札がある。勝坂神楽を奉納。	R05	732
	勝坂清水神社の石造薬師如来立像★	有形民俗	清水神社境内に、各種の石仏とともに祀られている。	R04	658
山路(さんろ)熊野神社境内★	史跡	本殿は、明和2年(1765)の建造。拝殿は大正2年上棟。	R05	733	
佐久間町	クロツバメシジミとツメレンゲ	天然記念物	準絶滅危惧種とその食草を高校生が保護する。	H28	89
佐久間町浦川	浦川歌舞伎	無形民俗	尾上栄三郎を偲ぶ村歌舞伎、平成元年復活。	H28	83
	浦川の街並み★	伝統的建造物群	養蚕や木材の集散地として商人宿の面影を残す。	R01	307
	相川掘割記念碑★	歴史資料	明治初期、洪水対策のための河川改修記念碑。	R03	545
	錦橋(きんばし)★	建造物	大千瀬川に橋を架けた四ツ門錦(よつかど きん)を記念。	R04	659
佐久間町中部	佐久間竜神の舞	無形民俗	昭和32年に佐久間ダム殉職者の供養で開始。10月末。	H28	84

平成28年度～令和7年度「浜松地域遺産(認定文化財)」一覧【天竜区】

所在地等	名称	種別		年度	認定番号
佐久間町奥領家	芋掘神楽	無形民俗	日月神社秋季例祭で奉納される。	H29	144
佐久間町相月	松島神楽	無形民俗	明和4年(1767)開始、御鋤神社で12演目。	H29	145
佐久間町大井	和泉及び鮎釣の神楽	無形民俗	子安神社祭礼、「道中舞(ぬさ舞)」と「ほろ舞」。	R02	455
水窪町	水窪じゃがた	伝統的生活文化	水窪に伝わるジャガイモの在来種、小ぶり。	R01	298
水窪町奥領家	八幡神楽	無形民俗	八幡宮矢場開きの獅子舞、昭和初期に復活。9月開催。	H28	88
	水窪まつり	無形民俗	大正9年(1930)開始、三社合同の祭礼。9月開催。	H29	134
	足神社境内★	史跡	青崩峠に向かう信州街道沿いの「足の神様」。	H29	135
	大野一本桜★	天然記念物	旧大野分校の校庭にある。樹齢172年(H29)。	H29	133
	山王岩峰の仏像	有形民俗	明和元年(1764)、役行者の木造と石仏を納める。	H30	241
	水窪の祇園祭り	無形民俗	6月14・15日の祇園に限り、花火を上げる。	H30	240
	水窪の削り花	無形民俗	小正月(1月14・15日)に木の枝を削って飾る。	H30	242
	六十六部供養塔及び教傳様神号石	有形民俗	享保年間(1726頃)の山岳修験者の記念塔。	R01	300
龍山町大嶺	白倉峡★	名勝	新緑や秋の紅葉が美しい峡谷。	H28	91
	白倉諏訪神社のエドヒガンザクラ★	天然記念物	参道脇にある。樹齢200～300年、幹回り3m。	R02	451
	龍山町平沢のヤマザクラ★	天然記念物	樹齢100～150年、幹回り約3m。	R02	452
龍山町戸倉	龍山橋★	建造物	橋長164m、1971年に建設した人道吊橋。	R01	297
龍山町下平山	峰之澤橋★	建造物	橋長157m、昭和30年代初めの人道吊橋。	R01	296
龍山町瀬尻	龍山町瀬尻の不動の滝★	名勝	幾重かある滝のひとつ、落差32m。	H29	148
	瀬尻のぶか凧	無形民俗	江戸時代後期に始まる、初節句を祝う凧あげ。5月。	R01	299